八郷広報

第89号

昭和37年12月15日

発行所　八郷町役場　茨城県新治郡八郷町大字柿岡2009　電話（柿岡）4・104・114・149番

印刷所　飯島印刷所　石岡市守木町

計画ある貯蓄で明るい生活を

歩く足もおのずと早くなる気ぜわしい年の暮になりました。

この年の暮は、農家のみなさんは一年がかりで丹精こめて栽培した農作物の収穫で、またサラリーマンは、この一年間無事につとめた待望のボーナスでそれぞれ喜びでいっぱいのことでしょう。しかし、このせっかく手にしたお金も、一度にどっと片よって入りますので、無計画に使ってしまうと、あたたまったふところがひえるばかりか、さきざきの生活にもつまづきます。

今月いっぱいは、「歳末貯蓄増強運動一期間です。このチャンスに長期計画をたて、計画ある貯蓄で明るい生活をきずきましょう。

火災シーズンむかえ　受賞記念　消防大会ひらく

町消防団は、昭和三十七年度優秀町として、さきに県よりはえある表彰が行なわれましたが、その伝達式をかねて受賞記念消防大会が十二月二日、柿岡中学校々庭ではなばなしくひらかれました。

この大会は、火災シーズンをむかえて、十一月十六日から十二月二日までの「秋の全国火災予防運動」期間の最後をかざって、火気使用の多くなるこれからの季節を無事におくるために、消防団の人員礼式、訓練、操法、機械器具の整備状況などを検査するとともに、団結と志気をたかめて、消防体制の万全を期する目的で行なわれたもので、消防ポンプ操法競技大会もあわせて実施されました。

この日午前六時、全地区いっせいに召集信号のサイレンが鳴らされ、十二月はじめにしてはきびしい寒さを感じるなかを八時、柿岡中学校に八区五十七の分団から団員一千百五十名が集合、人員や服装の点検が行なわれ、九時から表彰伝達があり、そのあと点検官講評、来賓祝辞につづいて操法競技大会にうつった。

操法競技は十二の分団が参加、選手宣誓を行なって審判長注意の後、競技がはじめられ、選手も応援も例年とは異なった気はくでせいいっぱいの演技をくりひろげられました。

その結果、第一位は前回にひきつづき第二十六分団（大増）、二位―第二十八分団（太田）、三位―第四十七分団（下林）がそれぞれ選ばれ上位二チームは十二月十六日に千代田村で行なわれる「新治郡消防ポンプ操法競技会」に町代表として参加することになりました。

この競技を採点した三名の点検官は、一様に「例年にくらべると長足の進歩のあとがうかがえる」とのことで、町消防団の技術レベルがいかにあがったかがわかります。

操法競技大会が終って午後一時「受賞記念消防大会」が数々の成果をおさめて、その幕をとじた。

この日の表彰は次のとおりです。

◇永年勤続消防団員（県知事表彰）

三十年勤続

山崎　秀昇（副団長・林）
長谷川　保（副団長・園部）
手賀　寧（副団長・柿岡）
永山　正造（分団長・柿岡）
小松崎通男（分団長・柿岡）

二十年勤続

山下　金男（分団長・瓦会）
桜井　丈夫（班長・小桜）
岡野　茂（団員・芦穂）
生畑目末吉（団員・園部）
鈴木　正（団員・園部）
友常　弘（団員・小桜）
菱沼　義治（団員・小桜）
菱沼　一郎（団員・小桜）
桜井　茂一（本部長・柿岡）

◇施設整備優良分団（町長表彰）

第4分団（柿岡上宿、仲町、新宿）
第9分団（小幡上宿、中宿）
第22分団（小山田、鯨岡）
第28分団（太田）
第31分団（瓦谷上宿、石野、寺下）
第39分団（郷中、園中、真家宿、長原）
第47分団（下林）
第53分団（弓弦）

◇功績賞（町長表彰）

大増消防団後援会
第3分団（瓦谷上宿、石田布野、寺下）後援会

◇団員外功労者（県知事表彰）

第28分団（太田）消防後援会
第40分団（東成井）消防後援会
第52分団（月岡、青田）消防後援会

操法競技第1位の第26分団の操作

12月は　社会を明るくする年末強調期間です

道路交通違反事件をふくまないで、犯罪は18秒に1件ずつおこっているといわれます。（昭和35年警察庁犯罪統計）

こんなに犯罪が多いのではやりきれない、と誰でも思うでしょう。しかし、これが現在社会の実相です。

犯罪をおかした人を放っておくと、再び罪をくり返し、悪循環はいつまでも続いて、明るい社会はなかなか実現できません。犯罪をおかした人もやはり個人として尊重されるべき国民で、この人々が再びまちがった道に踏みこまないよう、社会のみんなの手であたたかく愛の手をさしのべてこそ、明るい社会が実現できるのです。

最近の犯罪の情勢は、青少年の非行増加、悪質化特に年令の低下、中小学校生徒などの非行増加の傾向にあることは、ほんとうに憂慮にたえないことです。

このような青少年不良化は、家庭の愛のすきまから起こることが多いといわれ、子供の身持くずさぬ親のしつけこそ大切なものです。

町では、法務省の主唱により町ぐるみになって犯罪のない明るい社会を築くため、さる8月に「社会を明るくする運動実施委員会」を結成、恒常的にその運動を実施しています。犯罪の起りやすい12月の1カ月間を「社会を明るくする運動年末強調期間」と定め、犯罪の防止と保護更生運動を強調実施することになりました。

この期間には、特に小・中学校、高校当局、保護会民生委員会などが中心になって、それぞれ実情に応じた方法で実施していただくことになっていますので、皆さんの積極的な参加協力をのぞみます。

農業構造改善協議会結成
事業計画の樹立へ

町では十一月六日農業構造改善協議会が結成発足しました。

この協議会は町長の諮問に応じて、事業計画の樹立、実施地区の選定、事業実施の調整その他事業推進上必要な事業を行なうもので、農業委員各種農業団体の代表者、学識経験者など四十二名で構成されています。

役員には会長に滑川好道、副会長に鈴木幸七、馬立林蔵の三氏が互選されました。

12月の納税

固定資産税

第三期　25日限り

仲町第三など36年度の優良納税組合と功労者を表彰

ことし四月に結成された町納税貯蓄組合連絡協議会（会長本図藤十）では、十一月三十日組合長三百数十名が参加して熱海方面に一泊二日の研修旅行を行なった。

町では、この機会に昭和三十六年度優良納税貯蓄組合三十九組合と納税功労者十六名の表彰式をあわせて行ない意義ある研修旅行を終了した。

納税貯蓄組合と納税功労者の表彰は次のとおりです。

◇**優良納税貯蓄組合**（カッコ内は組合長名）

柿岡　仲町第三（那須省三）、上宿第四（永山正造）、下宿第一（上野孝一郎）、八重二共（苅部林一）、片野上宿第三（倉木清太郎）

小幡　下宿第一（鈴木芳水）、稲子（武田義昭）、細谷第二（鬼沢守正）、細谷中央（関　俊男）、下青柳第一（高橋林一）

芦穂　鯨岡北部第二（飯田門次郎）、小屋第一（小河原宗一郎）、上曾上宿第一（軽部義雄）、小倉第一（中島定右ェ門）、小倉第二（中島恵市）

恋瀬　本町（岡本七郎）、金ケ沢（岩田操）、細内（岩崎文一）、太田西（谷仲覚雄）、二本松中（久保田延義）

瓦会　平沢（黒崎正一）、山寺（路川忠直）、石田（鈴木重美）、中郷第一（小河原軍治）、野田（島田弘）

園部　真家宿下組（酒井光長）、向原第二（中島留次郎）、東山崎第七（安達一義）、鶴沼第三（鶴井昇）、中坪第一（永井清）

林　下林第二（菊地準吾）、飯塚第一（額賀新兵衛）、戸ノ内東第二（桜井三千男）、里第二（飯塚誠正）、加良寿里（鈴木光）

小桜　川又原（前島光男）、月岡第二（萩原正三郎）、青田第二（田上源三）、柴内第三（以後崎定雄）

◇**納税功労者**（カッコ内は大字名）

塚田隠（柿岡）、鈴木林蔵（柿岡）、高野茂兵衛（細谷）、小松崎政（小幡）、路川四郎兵衛（狢内）、上野金吾（小屋）、宮城満利（大増）、大図福一（中戸）、宮本休四郎（瓦谷）、長谷川治雄（瓦谷）、千葉清（東成井）、飯村藤三（山崎）、白田佐四郎（下林）、鈴木五平（下林）、島田初右工門（半田）、鴻巣馨（小野越）

蔬菜と花き・主産地形成めざし
町一本の協議会できる

町では蔬菜花卉の総合的な振興をはかり、主産地を形成するため、町一本の八郷町蔬菜花卉振興対策協議会を十一月六日結成しました。

この協議会は役場、議会、農業委員会、農協や蔬菜花卉の生産代表者によって構成され、各農協に支部をおき、さらに特約蔬菜部、一般蔬菜部、花卉部の各専門部会にわかれ、それぞれ専門の立場で生産から販売まで、一元的計画により事業を推進し、蔬菜花卉の合理的発展をはかろうとするものです。

協議会の役員は次の通りです

会　長　関野信平
副会長　吉田次郎、市塚大喜
監　事　桜井茂一、桜井敏雄
　　岡崎格之輔
特約蔬菜部長　土師茂治
一般蔬菜部長　桜井敏雄
花卉部長　倉持義盛

みんなで明るい正月を
町の才末たすけあい

本年も、いよいよしわすとなりました。町ではみんなで明るい年を迎えられるよう、才末たすけ合い運動をしています。

私達の町にも数多い恵まれない人々がいます、互いに手をとり温かい心を注いで幸わせを高めましょう。

共同募金をいただいたばかりで重ねてのお願いですが、一戸二十円程のご同情を寄せていただきたいと存じます。

期間を本月二十五日までとして、婦人会の方が募金に奉仕して下さいますのでよろしくご協力下さい。

〃温かい心分け合う年の暮〃

国民年金だより

当町でも　拠出年金支給はじまる

昨年四月から保険料納付が始った拠出制国民年金は、ことし五月から支給が行なわれています。

菊地美乃さん（大字柿岡）の場合

在学中のお子さん三人を残され去る八月一日夫豊松さんに亡くなられ、その後独力で農業を経営しつづけていました菊地さん夫婦は国民年金をよく理解していましたので、このほど年額二万八千八百円の母子年金が支給され、この家族保障によって悲しみのうちにも、年金制度のために力づよいと喜ばれています。

昭和37年度国民年金　第2期保険料成績表

昭和37年11月1日現在調

地区別	納入すべき月数	納入済月数	納入成績
			%
柿岡	4,241	3,960	93.3
小幡	4,097	3,755	91.6
芦穂	3,647	3,240	88.8
恋瀬	3,677	3,553	96.6
瓦会	3,228	2,999	92.9
園部	4,125	3,531	85.6
林	3,269	3,049	93.2
小桜	3,174	2,914	91.8
合計	29,458	27,001	91.8

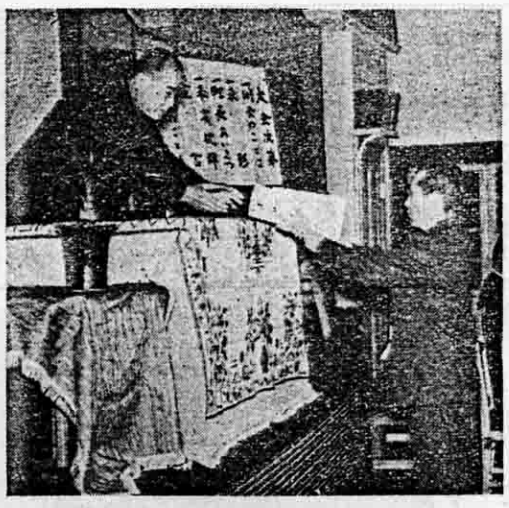
町初の統計大会ひらく

永年勤続調査員 六十七名を表彰

十二月五日、町ではじめての「統計大会」が統計調査員百五十二名をあつめ、多数の来賓を迎えて八郷公民館でひらかれた。

大会はまず、開会のことばにつづいて、四十年以上勤続の統計調査員鈴木栄次郎さん（戸の内西部担当）ら十年以上勤続の調査員六十七名に対し、永年にわたって統計調査員の業務を遂行した業績をたたえ、記念品をそえて表彰が行なわれた。

そのあと、町長あいさつ、来賓祝辞につづいて、調査員を代表し鈴木光雄さん（大増本町宿担当）が「統計は近代社会のあらゆる分野における指針として欠くべからざるものである。これは、われわれ統計関係者として大きなほこりであると共に、責任の重大さを痛感する。本日ここに意義ある八郷町統計大会が開催されるにあたり、使命の重大なることを自覚し決意をあらたにして、次のことを決議する。一、われらは近代社会における統計の重要性を認識し統計調査の正確性と迅速性の向上に努める。二、われらは統計思想の普及につとめ、統計を通じ、社会の進展に寄与する。」と宣言を朗読、万場の拍手で閉会した。



統計大会で永年勤続調査員の表彰をうける川井林平さん（柿岡）

永年勤続調査員の表彰は次のとおりです。

▽四十年以上勤続者
鈴木栄次郎（林）

▽三十年以上勤続者
川井林平（柿岡）、大久保茂（柿岡）、関文吾（小桜）、川又誠（小桜）、鴻巣善則（小桜）

▽二十年以上勤続者
関茂雄（柿岡）、来栖国勝（恋瀬）、広瀬新重郎（瓦会）、真家恒男（園部）、鈴木和雄（園部）、本多政雄（園部）、本多作三（園部）

▽十年以上勤続者
谷田部義雄（柿岡）、高橋専之介（柿岡）、鈴木政夫（柿岡）、大塚春雄（小幡）、鈴木熊吉（小幡）、関野弘一（小幡）、木崎真（小幡）、高橋信一（小幡）、木村隆司（小幡）、桜井明弥（芦穂）、三輪実（芦穂）、中島正美（芦穂）、本図慶二郎（芦穂）、小河原彦一（瓦会）、鈴木清男（瓦会）、小河原邦満（瓦会）、鈴木源四郎（瓦会）、路川忠直（瓦会）、鈴木充雄（瓦会）、小松要（瓦会）、秋山定一（瓦会）、横田重造（瓦会）、森田喜一（恋瀬）、木村修（恋瀬）、鈴木光雄（恋瀬）、古谷田安一（恋瀬）、石田茂（恋瀬）、飛田忠（恋瀬）、友部正一（恋瀬）、藤岡守一（恋瀬）、藤岡孝夫（恋瀬）、谷仲秀雄（恋瀬）、大山義雄（恋瀬）、藤岡忠（恋瀬）、山田政男（園部）、飯塚鉄之助（園部）、長谷川要（園部）、斉藤二男（園部）、小池亀太郎（園部）、鶴井真木村健一（園部）、倉田彦四郎実（園部）、開田千重（林）、島田和夫（林）、飯塚健之助（林）、佐藤将鬼（林）、白田正源（林）、市村愛（林）、富田忠久（林）、倉持義盛（林）、島田正稔（林）、関喜之（小桜）、富田常松（小桜）、関藤吾（小桜）

新しい民生委員 顔ぶれきまる

町の民生（児童）委員が十一月いっぱいで任期満了になり、十二月一日付で新しく、次の五十名のかたがたが任命されました。—カッコ内は担当区域—

◇柿　岡
土田太恵（西町、荒宿、上宿、仲町）、滝田せき（内宿、館）、小松きゑ（北町新宿）、平　忠（下宿、新地、研究所）、上曾知四郎（八重、長堀、高友）、飯田薫（片野、金指）

◇小　幡
小林平右ェ門（須釜、石沢細谷）、富田佐一（加生野原押越、下青柳）、島田一郎（中山、中山開拓、上青柳）、鬼沢鉄之助（下宿、横町全、堀之内）、大橋藤吾（湯袋、一之沢、細内、香取）、飯田得之（中宿、上宿）、塚谷茂信（十三塚里、稲子、藤本）

◇芦　穂
岡野銀三郎（新田、北ノ内）藤代遠（小山田、狢内、上山）、田島恵子（鯨岡）、吉沢佐内（上ノ寺、小屋、山居）、中島要（小倉）、苅部義延（上曾）、本図桂一郎（上根、北郷、辻、瓜谷、小久保）

◇恋　瀬
広瀬志げ（太田）、市村貞次（小見）、大図延之助（中戸）、宇田徳次（大塚）岡本七郎（大増）、板敷晃純（大増）

◇瓦　会
宮部忠蔵（部原、下宿、平沢、両桁山寺）、比気新一郎（小塙、宇治会の一部）田島ひで（宇治会）、野村宗一郎（野田、佐久、下三郷）、鈴木義雄（上宿、石田、布野、寺下）

◇園　部
広瀬政久（西久保、西原、上坪、神影）、高橋マツ（向原、中坪、下坪）、鶴井覚四郎（鶴沼、永沼、長原）、永井要（上郷、山根、真家）、大槻為之亟（宮ケ崎、張間、竹の内、新谷）、本多守之助（真家宿、郷中、千本、園中）、野口せつ（東山崎、南山崎上谷原、園西）、須藤善一（柴間、宿山崎）

◇林
島田作造（加良寿里、片岡里）、大木ふさ（根小屋）吉川イン（浦須、前島、上林）、小林文雄（下林、飯塚）、久家泰明（戸の内、大関、開拓）

◇小　桜
原田盈徳（半田）、鴻巣久雄（小野越、仏生寺）、小松崎朝十郎（弓弦、柴内）田上政子（月岡、青田）、松延勝雄（辻、菖蒲沢）、岡崎喜福（川又）

なお、十二月三日に辞令がわたされたあと、協議会をひらいて役員を選出しました。主な役員は次のとおりです。

◇総　務　原田　盈徳
◇副総務　平　忠
〃　小林　文雄

構造改善のすすめ方

広報十月号で〝農業構造改善事業のあらまし〟についてお知らせしてありますので、そのおおよそはおわかりいただいていることと思いますが、一通りの説明では中々わかりにくい点もありますので、もう一どわかりやすく書いて見ましょう。

助成される事業

まずどんな事業が助成の対象となるかということをはっきり知る必要がありましょう。助成される事業は農林省から〝助成対象事業実施基準〟として示されていてとてもきびしい条件がついています。この実施基準のプリントは町内各部落に二部位ずつ配布しますから、皆さんでそれをよくごらんねがいたいと思いますが、補助対象となる事業は土地基盤整備事業で八種目、水田作経営近代化施設で六、特用作物経営近代化施設で五、園芸経営近代化施設で十二、養蚕経営近代化施設で九、畜産経営近代化施設で四、農業基盤整備機械で一、合計四十八種目あります

これらの事業の内容を見ると、まず第一に気づくことはすべて共同事業又は共同施設であること、第二は大型農機具、大規模施設であること、第三は、これらの事業は構造改善の目的を達成するために互いに密接な関連をもち、中途半ばで事業効果に疑問があるような計画ではだめだということです。

計画の想像図 ①

—牛乳の場合—

事業の想像図

農業構造改善事業はどんな形で実施されるのか、参考までに一つの想像図を描いて見ましょう。

まず町内のABCの三部落が、基幹作物に牛乳をとり上げ、市乳主産地化を計画することとすれば、この三部落は各部落毎に、又は部落内の酪農家の共同で、綿密な事業計画をたてるわけですが、この場合の取り入れられる助成対象事業としては次のようなものがあります。

1. 草地造成改良事業＝これは市町村、農協、農事組合法人農業生産法人、又は共同施行者が、集約牧野の造成改良および牧道などの整備を行なう事業で五ヘクタール以上。
2. 飼料畑造成事業＝これは前記各種団体又は共同施行者が、山林、原野その他の未利用地に飼料畑を造成する事業で、その面積は五ヘクタール以上十ヘクタール未満です。
3. 自給飼料生産施設＝事業主体は前と同じでトラクターによる作業を中心とした自給飼料生産用の施設であって、乗用型トラクターおよびその附属作業機一式、並びにこれら農機具の格納用建物（三十平方㍍以上のもの）
4. 自給飼料調製貯蔵施設＝飼料の調製貯蔵を行なうための施設であって、建物、飼料調製貯蔵用作業機および附帯施設。
5. 畜舎＝事業主体は前と同じで、個人施設はだめ、一事業主体の関係戸数は五戸以上、規模は成牛三十頭以上、原則として放牧地のともなう施設とする。
6. 家畜用水施設
7. 放牧施設
8. 家畜管理所
9. 集乳所

以上は牛乳生産に直接つながる助成事業又は施設であるが、これを全部やらなければならないわけではなく、その事業集団の計画に合ったものをとり入れればよいのです。

（つづく）

新天地を求めて

中山の高木さんら4家族21人南米へ

小幡中山の高木治三郎さん石崎耕三さん、鈴木栄太郎さん、有賀康久さんの四家族二十一人は、新天地南米グァタパラ地区に移住するため、十二月二日アルゼンチナ丸で横浜港を出帆しました。

高木さんらは、満洲開拓者として満洲で活躍しましたが終戦のためやむなく帰国、同志たちと中山に入植、いつも大きな夢と希望をいだき、変らぬ開拓精神をもって農業をいとなんできました。

その大きな希望をさらに大きく実らせようと、このほどの南米移住が、町や県拓務課県海外協会の援助と助言によってきまったものです。

移住された方は、高木治三郎さんの家族五人、石崎耕三さん七人、鈴木栄太郎さん五人、有賀康久さん四人であわせて二十一人です。

子ども会のあたたかい行ない

＝柿岡内宿こども会では、廃品回収をして得た六百円を、身体障害者のために使ってください、と安島博明君が町社会福祉協議会に寄せられました。

＝長堀こども会は、小遣いを出し合って集めた三百九十三円を、市村文子さんが代表で、町共同募金会に届けられました。

＝柿岡小学校四年二組の川井衣子さんら五名の「きのこグループ」でも、小遣いを出しあって困っている方にあげてください、と町社会福祉協議会に百四十三円をとどけられました。

造林と伐採

造林計画の申込みは十二月末日が〆切です。

遅れぬよう森林組合に申し込んで下さい。

本年より森林法の一部が改正されました。

伐採の許可制度がなくなり届出制度だけになりました。

山林の立木を伐採しようとする場合は、伐採する六十日前に知事宛に届出ることになっています。

もし無届けで伐採すれば罰則によって罰せられることもありますので届出て下さい。

なお、くわしいことは森林組合に問い合わせて下さい。

（八郷町森林組合）

まちのわだい

寒空に心暖まる好意

東京にメッキ工場を経営する黒須利さんから、このほど瓦会中学校排球部にトレーニングズボンが寄贈され、この寒空に心暖まる好意が多くの人たちを喜ばし話題となっています。

この贈り主の黒須さんは、瓦会中学校卒業生の雇用主でかねてから瓦会中学校のバレーボールが地方大会で優秀な成績をおさめ、活躍していることを聞きおよんで寄贈されたものです。

同校生徒一同は、この寒さをよそに、同氏の好意に対して感謝の心で胸を暖め、選手たちも一人一人感謝のトレーニングズボンを身につけ、寒風をついて放課後の練習にはげんでいます。

なお、黒須さんは雇用者に対してもきわめて面倒がよく工場もますます発展しているとのことです。

（文）（芸）

俳句　滝田玉水選

柿岡　平　寿亭

○うそ寒や
嫁が情の焚落し

下林　小山　天泉

○この路も雑木ほつほつ
冬　隣り

瓦谷　増子　海哉

「瓦会地区百寿会笠間観菊遠足」
—菊人形花咲爺—

○冬暖や小判堀当て
にこにこと

—菊人形加藤清正虎退治—

○秋声や槍の穂先に挑む虎

小倉　植木　緑愁

○夜が来て亡き子が書きし
菊　匂う

○夜なべ終う病母の背揉む
刻が来て

俚謡　林　嶺月選

柿岡　寿無限生

百舌鳥の高音に朝露晴れて
小窓明るく照る紅葉

芦穂　中島　峯鐘

独りくむ茶の老いの手かざす嫁が情の焚落し

筑波ラインを潮来で結び
逢に流れる恋瀬川